



2020年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月3日

上場会社名 株式会社 平和堂 上場取引所 東
 コード番号 8276 URL <http://www.heiwado.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 平松 正嗣
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 谷川 善弘 (TEL) 0749-23-3111
 四半期報告書提出予定日 2019年10月4日 配当支払開始予定日 2019年11月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第2四半期の連結業績(2019年2月21日～2019年8月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|---------|------|-------|-------|-------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年2月期第2四半期 | 213,328 | △0.6 | 5,547 | △15.1 | 5,858 | △16.2 | 3,748 | △16.4 |
| 2019年2月期第2四半期 | 214,643 | 0.4 | 6,533 | 16.0 | 6,986 | 14.6 | 4,482 | 15.6 |

(注) 包括利益 2020年2月期第2四半期 3,254百万円(△24.1%) 2019年2月期第2四半期 4,289百万円(14.9%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年2月期第2四半期 | 71.46 | — |
| 2019年2月期第2四半期 | 85.46 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|---------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2020年2月期第2四半期 | 288,392 | 157,884 | 53.9 |
| 2019年2月期 | 288,931 | 155,630 | 53.0 |

(参考) 自己資本 2020年2月期第2四半期 155,402百万円 2019年2月期 153,140百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年2月期 | — | 17.00 | — | 18.00 | 35.00 |
| 2020年2月期 | — | 17.00 | | | |
| 2020年2月期(予想) | | | — | 18.00 | 35.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年2月期の連結業績予想(2019年2月21日～2020年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-----|--------|-------|--------|-------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 440,000 | 0.5 | 12,000 | △11.4 | 12,700 | △12.5 | 6,300 | △26.6 | 120.11 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 有
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2020年2月期2Q | 58,546,470株 | 2019年2月期 | 58,546,470株 |
| ② 期末自己株式数 | 2020年2月期2Q | 6,096,683株 | 2019年2月期 | 6,096,597株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2020年2月期2Q | 52,449,841株 | 2019年2月期2Q | 52,450,364株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| (4) 追加情報 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年2月21日から2019年8月20日まで)におけるわが国経済は、雇用・所得環境や企業収益の改善等を背景に緩やかに回復しているものの、通商問題をめぐる緊張が増大するなどの不確実な経済情勢により輸出や設備投資が低迷し、プラス成長は維持したものの、力強さを欠く展開となりました。

当小売業界におきましては、前期10月まで続いた野菜相場高の反動や夏場の低気温・天候不順、業態の垣根を超えた競争の激化に加え、最低賃金の引き上げによる人件費の増加、さらに物流コストや原材料価格の引き上げによる各種値上げなど、依然として厳しい経営環境が続いております。また、今後は当期10月に実施された消費増税、キャッシュレス5%ポイント還元の影響もあり先行きは不透明感が強まっております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、営業収益2,133億28百万円(前年同期比0.6%減)、営業利益55億47百万円(前年同期比15.1%減)、経常利益58億58百万円(前年同期比16.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益37億48百万円(前年同期比16.4%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

[小売事業]

グループ中核企業である「株式会社平和堂」は、改装効果や前期の新店効果などもあり増収となりましたが、人件費の増加等により経常減益となりました。

既存店の活性化として改装投資を計画的に進めフレンドマート梅津店(京都府京都市)、フレンドマートグリーンヒル青山店(滋賀県大津市)、フレンドマート高槻氷室店(大阪府高槻市)、フレンドマート江頭店(滋賀県近江八幡市)、フレンドマート彦根地藏店(滋賀県彦根市)、アル・プラザ木津(京都府木津川市)、グリーンプラザ店(愛知県名古屋市)、アル・プラザ小杉(富山県射水市)、フレンドマート上笠店(滋賀県草津市)の計9店舗(食品大規模4店舗、食品小規模5店舗)において売場の改装を実施、商圈の特性に合わせた品揃えや売場展開の変更、老朽化した什器の入れ替え等、ストア・ロイヤルティの向上に努めてまいりました。

管理面では、人口減少による採用難が継続する中、営業業務改革推進プロジェクトや本部業務改革推進プロジェクトといった部署を中心に、店舗・本部の作業時間削減に向けた取り組みの強化を進めてまいりました。

中国湖南省で小売事業を展開する「平和堂(中国)有限公司」は、競合出店の影響もあり減収・経常減益となりました。

滋賀県でスーパーマーケットを展開する「株式会社丸善」は、競合影響等により減収・経常減益の赤字決算となりました。

書籍、CD・DVD販売やCD・DVD、コミックのレンタル業を展開する「株式会社ダイレクト・ショップ」は、前期より立ち上げた新規フィットネス事業が計画通り推移しているものの、主力販売品目の低下傾向が継続し減収・経常減益の赤字決算となりました。

[小売周辺事業]

惣菜・米飯および生鮮品の製造加工を営む「株式会社ベストオーネ」は、食品センター設備の有効活用による製造数の増加により増収となりましたが、人件費の増加により経常減益となりました。

ビル管理事業を営む「株式会社ナショナルメンテナンス」は、新規外部物件の受注獲得により増収となりましたが、外注作業費の増加により経常減益となりました。

[その他事業]

外食事業を展開する「株式会社ファイブスター」は、メニューの改定や人気キャラクターの起用終了、節約志向の高まり等から客数、粗利益率ともに前年を下回ったことにより減収・経常減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5億38百万円減少し、2,883億92百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産が19億69百万円増加した一方で、商品及び製品が10億75百万円、投資有価証券が5億48百万円、敷金及び保証金が4億91百万円、無形固定資産が4億54百万円減少したこと等であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ27億92百万円減少し、1,305億8百万円となりました。この主な要因は、コマーシャル・ペーパー（流動負債その他）が40億円増加した一方で、短期借入金が30億46百万円、長期借入金が39億55百万円減少したこと等であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ22億53百万円増加し、1,578億84百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が28億4百万円増加したこと等であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ12億95百万円減少し、178億61百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の収入は、前年同期に比べ14億71百万円減少し、121億43百万円となりました。この主な要因は、預り金の増減額が7億8百万円、仕入債務の増減額が4億13百万円減少したこと等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の支出は、前年同期に比べ24億52百万円増加し、92億82百万円となりました。この主な要因は、有形及び無形固定資産の取得による支出が31億43百万円増加した一方で、定期預金の純増減額が2億円減少したこと等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の支出は、前年同期に比べ57億17百万円減少し、40億52百万円となりました。この主な要因は、コマーシャル・ペーパーの純増減額が40億円増加した他、長期借入金の返済による支出が8億8百万円減少したこと等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績予想数値は、2019年6月27日公表時より変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

従来、当社及び一部の国内連結子会社における税金費用については、年度決算と同様の方法により計算しておりましたが、四半期決算業務の一層の効率化を図る施策の一つとして、第1四半期連結会計期間より、連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。また、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」に同様の情報を記載しているため、省略しております。

(4) 追加情報

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、流動資産の「その他」が2,273百万円、流動負債の「その他」が0百万円、固定負債の「繰延税金負債」が44百万円、それぞれ減少し、投資その他の資産の「繰延税金資産」が2,228百万円増加しています。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2019年2月20日) | 当第2四半期連結会計期間 (2019年8月20日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 23,045 | 22,750 |
| 受取手形及び売掛金 | 5,642 | 5,815 |
| 商品及び製品 | 19,952 | 18,877 |
| 原材料及び貯蔵品 | 183 | 185 |
| その他 | 5,202 | 5,225 |
| 貸倒引当金 | △8 | △6 |
| 流動資産合計 | 54,018 | 52,847 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 85,436 | 83,659 |
| 土地 | 96,282 | 96,278 |
| その他（純額） | 9,866 | 13,616 |
| 有形固定資産合計 | 191,584 | 193,553 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 940 | 907 |
| 借地権 | 5,644 | 5,570 |
| その他 | 4,044 | 3,698 |
| 無形固定資産合計 | 10,630 | 10,176 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 4,994 | 4,446 |
| 敷金及び保証金 | 20,820 | 20,329 |
| 繰延税金資産 | 4,388 | 4,622 |
| その他 | 2,799 | 2,723 |
| 貸倒引当金 | △305 | △305 |
| 投資その他の資産合計 | 32,698 | 31,815 |
| 固定資産合計 | 234,913 | 235,545 |
| 資産合計 | 288,931 | 288,392 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2019年2月20日) | 当第2四半期連結会計期間 (2019年8月20日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 30,920 | 31,915 |
| 電子記録債務 | 414 | 364 |
| 短期借入金 | 17,693 | 14,647 |
| 未払法人税等 | 2,450 | 1,991 |
| 賞与引当金 | 1,393 | 1,375 |
| ポイント引当金 | 7,469 | 7,609 |
| 利息返還損失引当金 | 104 | 100 |
| 閉店損失引当金 | 407 | 225 |
| 設備関係電子記録債務 | 3,120 | 3,000 |
| その他 | 23,313 | 27,513 |
| 流動負債合計 | 87,288 | 88,744 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 23,267 | 19,312 |
| 退職給付に係る負債 | 9,534 | 9,479 |
| 資産除去債務 | 2,861 | 2,877 |
| 受入敷金保証金 | 9,098 | 9,095 |
| 繰延税金負債 | 89 | 95 |
| その他 | 1,160 | 903 |
| 固定負債合計 | 46,012 | 41,764 |
| 負債合計 | 133,301 | 130,508 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 11,614 | 11,614 |
| 資本剰余金 | 19,518 | 19,518 |
| 利益剰余金 | 131,549 | 134,353 |
| 自己株式 | △12,309 | △12,310 |
| 株主資本合計 | 150,372 | 153,176 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,448 | 1,046 |
| 為替換算調整勘定 | 1,881 | 1,633 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △561 | △454 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,768 | 2,226 |
| 非支配株主持分 | 2,489 | 2,481 |
| 純資産合計 | 155,630 | 157,884 |
| 負債純資産合計 | 288,931 | 288,392 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年2月21日 至 2018年8月20日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年2月21日 至 2019年8月20日) |
|------------------|--|--|
| 営業収益 | | |
| 売上高 | 201,100 | 199,730 |
| 営業収入 | 13,543 | 13,597 |
| 営業収益合計 | 214,643 | 213,328 |
| 売上原価 | 141,738 | 140,864 |
| 売上総利益 | 59,361 | 58,865 |
| 営業総利益 | 72,905 | 72,463 |
| 販売費及び一般管理費 | 66,371 | 66,916 |
| 営業利益 | 6,533 | 5,547 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 175 | 170 |
| 受取補助金 | 178 | 62 |
| その他 | 220 | 162 |
| 営業外収益合計 | 575 | 395 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 34 | 21 |
| 支払補償金 | 14 | — |
| 為替差損 | 53 | 48 |
| その他 | 19 | 14 |
| 営業外費用合計 | 121 | 84 |
| 経常利益 | 6,986 | 5,858 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | 0 |
| 子会社清算益 | 88 | — |
| その他 | 76 | — |
| 特別利益合計 | 165 | 0 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 15 | — |
| 固定資産除却損 | 161 | 126 |
| 災害による損失 | 120 | — |
| 閉店損失引当金繰入額 | — | 16 |
| 減損損失 | 0 | 13 |
| その他 | 0 | — |
| 特別損失合計 | 299 | 156 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 6,852 | 5,702 |
| 法人税等 | 2,255 | 1,891 |
| 四半期純利益 | 4,597 | 3,810 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 114 | 62 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 4,482 | 3,748 |

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年2月21日 至 2018年8月20日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年2月21日 至 2019年8月20日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 4,597 | 3,810 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △93 | △402 |
| 為替換算調整勘定 | △310 | △261 |
| 退職給付に係る調整額 | 96 | 107 |
| その他の包括利益合計 | △307 | △556 |
| 四半期包括利益 | 4,289 | 3,254 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 4,190 | 3,205 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 98 | 48 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年2月21日 至 2018年8月20日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年2月21日 至 2019年8月20日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 6,852 | 5,702 |
| 減価償却費 | 5,565 | 5,389 |
| のれん償却額 | 33 | 33 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 99 | 100 |
| 閉店損失引当金の増減額 (△は減少) | △50 | △182 |
| 受取利息 | △175 | △170 |
| 支払利息 | 34 | 21 |
| 固定資産除却損 | 161 | 126 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △123 | △178 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 786 | 1,045 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 1,434 | 1,020 |
| 預り金の増減額 (△は減少) | 1,776 | 1,068 |
| その他 | △14 | 439 |
| 小計 | 16,381 | 14,415 |
| 利息及び配当金の受取額 | 198 | 198 |
| 利息の支払額 | △34 | △23 |
| 法人税等の支払額 | △2,930 | △2,446 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 13,615 | 12,143 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の純増減額 (△は増加) | △1,360 | △1,159 |
| 有形及び無形固定資産の取得による支出 | △5,045 | △8,189 |
| 長期前払費用の取得による支出 | △12 | △13 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △53 | △7 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 389 | 263 |
| その他 | △747 | △175 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △6,829 | △9,282 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △505 | 30 |
| 長期借入れによる収入 | 4,100 | 4,300 |
| 長期借入金の返済による支出 | △12,139 | △11,331 |
| 自己株式の取得による支出 | △0 | △0 |
| 配当金の支払額 | △1,101 | △944 |
| コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少) | — | 4,000 |
| その他 | △123 | △106 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △9,769 | △4,052 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △138 | △104 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △3,123 | △1,295 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 19,113 | 19,156 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 15,990 | 17,861 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。